

臨床研修医募集定員の決定方法について

【平成28年度に研修を開始する研修医】

□ 厚労省による制度見直しの概要

270327

【大阪府の上限数設定】

・ 上限数の増加

平成27年度から研修を開始する研修医の大阪府内病院の募集定員合計：642人《▲15人》

⇒ 平成28年度から研修を開始する研修医の大阪府内病院の募集定員上限（案）：651人《+9人》

・ 都道府県調整枠

厚労省が設定する『大阪府の仮上限で按分した募集定員（案）（497人）』と

『大阪府の上限数（案）（651人）』との差分（154人）は、大阪府による調整が可能

※実質的には大阪府全体の募集定員の増加分《9人》を調整

【各都道府県募集定員の上限算出方法の見直し】

・ 募集定員の倍率

1.20倍 ⇒ 1.18倍

・ 研修希望者数の推計方法

医学部入学定員を基に推計 ⇒ 5年次在学学生数を基に推計

・ 上限の算出方法

27年度に都道府県が配りきれなかった上限と募集定員との差（361人）を加えて算出

・ 他の都道府県の大学で養成している地域枠学生にかかる募集定員への対応

養成している当該都道府県の募集定員の上限に反映

⇒勤務条件を定めている都道府県の募集定員の上限に反映

□ 大阪府の募集定員設定方法

【医療対策協議会委員の意見（論点）】

- ・地域医療に貢献している大学病院の分院への医師派遣が評価されないことは問題。
- ・マッチングの結果は病院の研修機能の評価。
- ・第三者評価項目は、NPO法人日本医療教育プログラム推進機構の基本的臨床能力評価試験の受験状況もよい。
- ・実態としては、南河内が医師不足ではないとは思えないので、何か別の指標を用いて医師不足のエリアの判断をするべき。
- ・すべての項目を平等に評価すべきかどうか。
- ・大学・病院・診療所などが連携した枠組みの中で研修体制を考えられないか。
- ・最終配分調整で定員配分された病院には調査票内容の事後確認をすべき。 ⇒26年度実施、27年度は事前に周知
- ・定員調整と同時に地域の医療体制整備計画のようなものを提示すべき。 ⇒27年度に医療ビジョン策定を開始

【算定の考え方】

- ・26年度に決定した募集定員設定方法で算定
 - ① 大阪府ベース値（厚労省の募集定員設定方法に準拠）
 - ② 最終配分調整（『大阪府ベース値の府内病院合計』と『大阪府の上限数』の差は、
大阪府医療対策協議会において協議を行い配分先を調整）
- ・激変緩和措置の内容を見直し

【大阪府激変緩和措置】

□ 26年度

- ・前年度の募集定員からの増減は±1人以内

□ 27年度見直し（案）

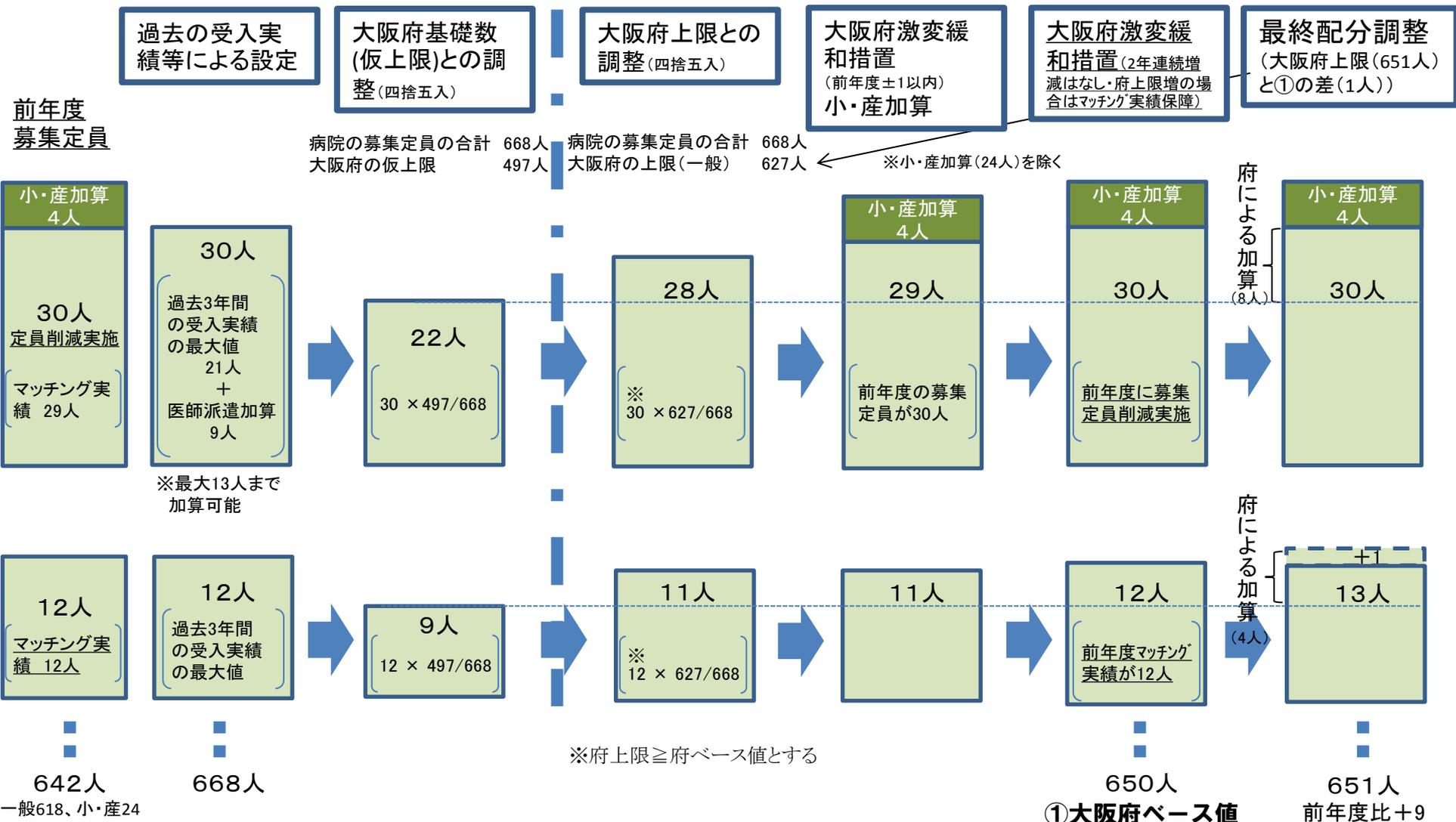
- ・前年度の募集定員からの増減は±1人以内
- ・2年連続の増減はしない

《理由》同一病院に機械的に募集定員の増減が集中するのを避けるため

- ・大阪府の上限数が前年度より増加する場合は、前年度マッチング実績を保障

《理由》マッチング実績の高い病院を（可能な限り）評価するため

各研修病院の募集定員設定方法



【大阪府激変緩和措置】前年度募集定員からの増減は±1人以内とする。

2年連続の増減はしない。

大阪府の上限数が前年度より増加する場合は、前年度マッチング実績を保障

【小児科・産科プログラム特例加算】：前年度に当該加算を受けている病院のプログラムを継続

【最終配分調整】①大阪府ベース値と大阪府上限の差を調整する。

⇒調整方法：大阪府医療対策協議会における協議(マッチング実績・指導体制・研修環境などを評価)をふまえ、調整を実施。

□ 最終配分調整における大阪府の評価項目設定の考え方

○ 昨年度の評価項目をベースに、医対協委員意見等をふまえ、内容を修正

○ 評価のポイント

- ・臨床研修の基本理念を十分にふまえ、意識を持って教育している病院を評価
⇒指導体制や研修環境の充実度について調査
調査ポイント：指導医数（小児科・産婦人科・救急部門）、第三者評価
- ・将来の地域医療・在宅医療の実践への基礎となる研修に配慮している病院を評価
⇒プライマリケアの修得や地域医療・在宅医療への興味を誘導するようなプログラムとなっているか調査
調査ポイント：総合診療外来研修の実施状況・地域医療等への誘導に向けた工夫
- ・配分した定員分を確実に受け入れられる病院を優先
調査ポイント：マッチ率や希望順位登録者数

評価項目

□ マッチング実績

- ・マッチ者数：過去3年間のうち2回以上フルマッチを優先
- ・希望順位登録者数：多い順にソート

□ 指導体制

- ・総合診療外来研修
実施日数
指導体制
地域医療等への誘導に向け工夫・配慮している点
- ・研修の進捗状況の管理方法
EPOCなどインターネットを利用or研修医手帳orその他
評価方法・評価体制

□ 参考項目

- ・前年度最終配分調整実施病院

□ 研修環境

- ・第三者評価
卒後臨床研修評価機構の認定の有無（最終更新年）
日本医療機能評価機構の認定の有無（最終更新年）
その他の認定
- ・外部での研修活動
学会での（症例）発表件数（筆頭発表者のみ）

□ その他

- ・アピールポイント（自由記載）

□ 医師不足地域

- ・人口10万人対医師数が全国値を下回る及び高齢化率推計が府平均を上回る二次医療圏
[北河内・中河内・南河内・堺市・泉州]

□ 今後のスケジュール

- 3/27 大阪府医療対策協議会
 - ・ 募集定員調整スキーム

- 4月中 厚労省による都道府県別募集定員の上限の設定
都道府県向け制度見直しに関する説明会

- 5月上 大阪府による『臨床研修医募集定員の決定方法に関する説明会』
 - ・ 大阪府定員調整スキームの提示
 - ・ 定員調整の希望調査事前検討開始の依頼
- 5/29 厚労省 ⇒ 平成28年度研修 募集定員の情報提供（都道府県・各臨床研修病院）

- 6月上 大阪府 ⇒ 各病院へ募集定員（大阪府ベース値）の情報提供
増減員希望の有無・臨床研修プログラム等調査票の回答を依頼
(6/9締切)

- 6月下 大阪府医療対策協議会
 - ・ 最終配分調整
- 6/30 大阪府 ⇒ 増減員を希望した病院へ定員調整結果の通知
⇒ 厚労省へ調整後の各病院定員の通知

- 7/31 厚労省 ⇒ 平成28年度研修 募集定員の決定通知（都道府県・各臨床研修病院）

平成28年度研修 都道府県別募集定員の上限の試算（平成26年11月28日部会了承版）

	27年度				28年度				人口分布		医師養成数		⑥と⑧の 多い方		地理的条件等の加算										基礎数 (仮上限) 2,019	研修希望者数推計値 の1.18倍+361 (=11691)と基礎数 (仮上限)の差を26採 用実績の割合により 按分等(※3、※5)	都道府県 上限 地域枠 調整後 (21)	27年度 採用 実績 との差 (22)	26年度 採用 実績 との差 (23)
	募集 定員 上限 (1)	病院 募集 定員 合計 (2)	採用 実績 (3)	採用 実績 (4)	人口 (5)	研修医 総数推 計値 (8546人) を人口割 合で按分 (6)	27年度 医学部 定員 (※2) (8546人) を医学部 定員割合 で按分 (8)	研修医 総数推 計値 (8546人) を医学部 定員割合 で按分 (8)	研修医 数推計 値を⑧ で按分 (10)	100km ² 当たり 医師数 (11)	面積当 たりの 医師数 による 加算(係 数0.1と 0.07) (12)	離島人 口 (13)	離島人 口による 加算(係 数6) (14)	高齢化率 (人口に 占める65 歳以上の 割合) (15)	高齢化率 を動差し た加算 (係数 0.06) (16)	人口10 万人当 たり医 師数 (17)	人口10 万人当 たり医 師数に よる加 算(係 数0.06) (18)	基礎数 (仮上限) 2,019 (19)	研修希望者数推計値 の1.18倍+361 (=11691)と基礎数 (仮上限)の差を26採 用実績の割合により 按分等(※3、※5) (20)	27年度 採用 実績 との差 (22)	26年度 採用 実績 との差 (23)								
北海道	448	459	278		5,431	364	344	319	364	304	15.4	32	12,141	5	27.05	20	236.7	20	381	72	12	453	5	175					
青森	147	147	69		1,335	90	132	122	122	102	27.4	11			27.94	7	197.7	7	127	18	4	145	▲2	76					
岩手	142	111	67		1,295	87	130	121	121	101	17.0	11			28.73	7	201.0	7	126	17		143	1	76					
宮城	180	181	114		2,328	156	135	125	156	130	73.5	10	4,948	2	23.75		230.2	9	151	29	4	180		66					
秋田	137	126	65		1,050	70	129	120	120	100	19.8	11			31.52	7	219.8	7	125	17	4	142	5	77					
山形	136	119	68		1,141	77	125	116	116	97	27.9	11	255	1	29.10	7	227.7	7	123	17	4	140	4	72					
福島	155	161	91		1,946	131	130	121	131	110	26.7	12			26.93	7	189.4	7	136	23	4	159	4	68					
茨城	208	213	124		2,931	197	132	122	197	165	84.8				24.84		176.5	11	176	32	4	208		84					
栃木	246	176	134		1,986	133	243	225	225	188	67.1	14			24.17		216.6	12	214	34	8	248	2	114					
群馬	155	155	78		1,984	133	123	114	133	111	70.1	9			25.81	7	224.7	7	134	20	4	154	▲1	76					
埼玉	493	457	265		7,222	485	211	196	485	406	293.4				23.00		154.3	26	432	68	20	500	7	235					
千葉	443	443	326		6,192	416	122	113	416	348	214.8				24.31		178.9	22	370	84	24	454	11	128					
東京	1,496	1,500	1,272		13,300	893	1,490	1,381	1,381	1,155	1,896.0		27,470	16	21.91		312.0		1,171	327	88	1,498	2	226					
神奈川	678	682	519		9,079	609	439	407	609	509	757.1				22.39		201.5	33	542	133	32	675	▲3	156					
新潟	203	203	76		2,330	156	127	118	156	130	36.4	10	63,580	23	28.11	9	196.6	9	181	20	4	201	▲2	125					
富山	109	109	53		1,076	72	112	104	104	87	63.3	7			28.72	6	249.9		100	14	4	114	5	61					
石川	225	179	96		1,159	78	225	209	209	175	77.5	13	155	1	26.06	12	280.0		201	25	8	226	1	130					
福井	119	91	46		795	53	115	107	107	89	47.1	7			26.92	6	248.4		102	12	4	114	▲5	68					
山梨	128	94	59		847	57	125	116	116	97	42.8	8			26.56	7	225.4	7	119	15	8	134	6	75					
長野	170	176	114		2,122	142	120	111	142	119	34.8	9			28.28	8	222.6	8	144	29	4	173	3	59					
岐阜	165	167	110		2,051	138	110	102	138	115	39.0	9			26.28	8	202.2	8	140	28	4	168	3	58					
静岡	278	277	167		3,723	250	120	111	250	209	93.1		211	1	25.95	14	194.5	14	238	43	12	281	3	114					
愛知	559	563	452		7,443	500	437	405	500	418	301.1		4,284	2	22.33		208.9	27	447	116	24	563	4	111					
三重	151	151	102		1,833	123	125	116	123	103	65.5	8	4,606	2	26.19	7	206.4	7	127	26	4	153	2	51					
滋賀	123	125	74		1,416	95	117	108	108	90	75.9	7			22.53		215.3	6	103	19	4	122	▲1	48					
京都	264	271	254		2,617	176	214	198	198	166	177.6				25.83	11	313.1		177	82	12	259	▲5	(5)					
大阪	639	642	598		8,849	594	537	498	594	497	1,255.8				24.68		269.8		497	154	24	651	12	53					
兵庫	415	416	326		5,558	373	229	212	373	312	157.8		8,216	3	25.33	20	238.4		335	84	8	419	4	93					
奈良	124	124	90		1,383	93	117	108	108	90	84.9				26.68	6	226.5	6	102	23	4	125	1	35					
和歌山	110	113	86		979	66	110	102	102	85	58.5	7			29.42	6	282.4		98	22	4	120	10	34					
鳥取	107	80	33		578	39	110	102	102	85	49.8	7			28.20	6	301.9		98	8	4	106	▲1	73					
島根	131	99	47		702	47	112	104	104	87	29.0	10	21,936	18	30.91	6	277.2		121	12	4	133	2	86					
岡山	243	235	152		1,930	130	240	222	222	186	79.0	14	3,043	2	27.15	12	291.1		214	39	12	253	10	101					
広島	206	212	160		2,840	191	120	111	191	160	86.1		11,032	4	26.16	11	256.9		175	41	4	216	10	56					
山口	126	126	69		1,420	95	117	108	108	90	59.9	7	4,561	2	30.21	6	257.9		105	18	4	123	▲3	54					
徳島	114	103	48		770	52	114	106	106	89	58.9	7	294	1	29.09	6	317.0		103	12	4	115	1	67					
香川	113	105	54		985	66	114	106	106	89	144.2		7,467	5	28.12	6	274.6		100	14	4	114	1	60					
愛媛	124	129	80		1,405	94	115	107	107	89	63.1	7	15,405	7	28.75	6	255.1		109	21	8	130	6	50					
高知	116	99	52		745	50	115	107	107	89	31.3	7	279	1	31.14	6	298.5		103	13	4	116		64					
福岡	445	452	367		5,090	342	441	409	409	342	304.3		2,604	2	24.17		297.6		344	94	16	438	▲7	71					
佐賀	105	96	67		840	56	106	98	98	82	90.4		2,047	2	26.07	6	262.6		90	17	4	107	2	40					
長崎	182	155	75		1,397	94	121	112	112	94	99.0		141,043	60	27.92	6	291.0		160	19	8	179	▲3	104					
熊本	141	145	109		1,801	121	115	107	121	101	68.0	8	3,903	2	27.26	7	279.6		118	28	4	146	5	37					
大分	115	114	53		1,178	79	110	102	102	85	49.9	7	4,726	3	28.61	6	268.6		101	14	4	115		62					
宮崎	110	96	45		1,120	75	110	102	102	85	35.0	7	1,163	1	27.68	6	241.9		99	12	4	111	1	66					
鹿児島	186	172	73		1,680	113	117	108	113	95	46.0	7	172,034	62	27.80	6	251.6		170	19	4	189	3	116					
沖縄	173	173	135		1,415	95	117	108	108	90	149.2		131,101	53	18.37		240.1		143	35	8	178	5	43					
計	11,583	11,222	7,792	8,546	127,297	8,546	9,219	8,546	10,222	8,546	80.2	294	648,504	281	25.06	284	238.2	267	9,672	2,019	444	11,691	108	3,899					

●本試算は、過去の統計データ等をもとに算出しており、実際の28年度の都道府県上限設定の際は、最新のデータ等により算出するため変動があり得る。

- 端数処理の関係で、都道府県別の値と合計欄とが一致しない箇所がある。
- 面積当たり医師数、人口当たり医師数については、全国の平均値よりも少ない場合に加算。
- 高齢化率(人口当たりの65歳以上の割合)については、全国の平均値よりも高い場合に加算。
- 地理的条件等の加算と都道府県調整枠のバランスをとる観点から、地理的加算全体に1.05を乗じている。

(※1)「研修医総数推計値」は、平成28年度研修希望者数推計値に、研修希望者数に対する採用実績数の割合の過去3年平均(0.89)を乗じて算出。

→平成28年度研修の希望者数推計値9,602人×0.89=8,546人

(※2)他県で養成されている地域枠医学生分は調整(富山+2、石川▲2、奈良+2、和歌山+10、大阪▲12)。

(※3)「研修希望者数推計値」は、平成27年度研修の希望者数に、増加分の推計値を加えて算出。

→平成28年度研修の希望者数推計値9,602人×1.18倍+361(平成27年度の上限と募集定員との差)=11,691人

(※4)小児科・産科特例プログラム定員数については、平成27年度設定時のものを仮置きしており、実際の28年度の設定の際は変動があり得る。

(※5)京都府に、平成27年度の上限と募集定員との差361のうち16を配分。うち11は直近(平成26年度)の採用実績と上限計算値との差、5は医師不足地域での増員に限定した定員。

評価項目見直し(案)

調査項目	26年度		見直し方針	理由	27年度	
	調査内容	評価の考え方			調査内容	評価の考え方
マッチング実績	過去3年のマッチ状況	2年以上フルマッチを優先	継続		過去3年のマッチ状況	2年以上フルマッチを優先
	前年度希望順位登録者数	募集定員の3倍以上	継続		前年度希望順位登録者数	募集定員の3倍以上
指導体制	メンター制度の有無・指導医の構成と人数	メンター1人が受け持つ研修医が5人まで	変更	定員配分先のヒアリング時に、メンター制度の課題を総じて指摘	指導医数(必須科目及び選択必須科目毎)	小児科・産婦人科・救急部門の配置
	総合診療外来研修内容・日数	研修医が診察・研修日数が30日以上	継続		総合診療外来研修内容・日数(日数計算の根拠(カリキュラム等)も添付)	研修医が診察・研修日数が30日以上
			拡充	本府の施策方針をさらに強く提示するため	地域医療等への誘導に向け工夫・配慮している点	記載内容評価(評価点上位の病院による二段階目評価項目とする)
	救急外来当直指導医配置・オンコール体制		削除	病院間で明確な差がつかなかったため	—	
	研修の進捗状況の管理方法	EPOC・研修医手帳と独自の評価方法の組み合わせ	継続		研修の進捗状況の管理方法	EPOC・研修医手帳と独自の評価方法の組み合わせ
			拡充	定員配分先は、総じて多職種による評価を実施	評価の方法(評価体制(職種)・方法)	多職種の評価・指導医の逆評価など資質向上の取り組み
研修環境	第三者評価(卒後臨床研修評価機構・日本医療機能評価機構)	卒後臨床研修評価機構の認定	継続		第三者評価(卒後臨床研修評価機構・日本医療機能評価機構)	卒後臨床研修評価機構の認定
			拡充	医対協委員の意見反映	その他の臨床研修に係る第三者評価の認定状況	記載内容評価(評価点上位の病院による二段階目評価項目とする)
	設備(研修医室・専用の机)		削除	病院間で明確な差がつかなかったため	—	
	学会発表件数	年1件/人以上	継続		学会発表件数(地方会以上)	年1件/人以上
自由記載	アピールポイント		継続		アピールポイント	記載内容評価(評価点上位の病院による二段階目評価項目とする)
地域偏在	医師不足地域	北河内・中河内・堺市・泉州	拡充	医対協委員の意見反映	医師不足地域・高齢化率	北河内・中河内・南河内・堺市・泉州
参考項目			新規	医対協委員の意見反映	最終配分調整実施病院	